

授業科目	* 助産管理実習				単位	1		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	MI31404J		
開講年次	1	開講時期	通年	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2			
担当教員	杉浦 絹子、山田 恵、古賀 玉緒、前田 幸、新郷 朋香							
授業概要	助産師の実践活動を通して助産管理の実際を学ぶ。 助産師としての職業的アイデンティティを養う。							
学生が達成すべき行動目標	実習要項参照							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	0	0	40	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			20				20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						25	25	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			30			15	45	
態度(DP4-2)			10				10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルの1～6を達成したうえで、助産業務管理について自己の今後の実践活動に繋げることができる。				1. 助産業務管理の実際を説明できる。 2. 助産業務に必要な法令とその運用について説明できる。 3. 災害および異常事態発生時の助産管理における緊急対応の実際を説明できる。 4. 地域の周産期医療体制と連携方法を説明できる。 5. 地域における助産活動の実際を説明できる。 6. 助産師としての職業的アイデンティティの基礎が形成できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	実習オリエンテーション(杉浦)	講義	予習復習:オリエンテーション内容に関する復習および課題の実施	60
2	臨地実習 実習要項参照	臨地実習	復習:見学・実施した看護の結果に関する評価考察他	120
3	実習のまとめ(杉浦・古賀・前田・山田・新郷)	演習	予習:実習のまとめ作成・発表準備	60
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	助産管理・地域母子保健及び妊産褥婦と新生児のアセスメントとケアに関する知識と技術を要する。基礎科目・専門科目・支援科目及びこれまでの実習で学習したことを復習して実習に臨んで下さい。			
テキスト	助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健:我部山キヨ子他編, 医学書院 助産学講座 10 助産管理:我部山キヨ子他編, 医学書院 産婦人科診療ガイドライン産科編 2020 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編 産婦人科学会			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	助産師業務ガイドライン 2019 日本看護協会出版会 その他、必要に応じて提示します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	助産師の倫理・使命・役割を意識し、主体的かつ能動的に実習指導者、教員に働きかけ、学びの多い実習となるように取り組みましょう。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	実習中の実施内容、実習記録、実習に対する姿勢・態度に関する実習評価表に基づき、知識、技術、態度について総合的に評価します。			

